

CONTENTS

2	キャリアウェイ～理系女子学生のキャリア教育と活躍促進のための環境整備に関する研究	
4	自分プロデュースで可能性を広げる！	飯岡(安田) 恵
5	今日を積み重ねた明日へ、明日を積み重ねた未来へ	池田 桂
6	何事も ENJOY！前向きに頑張る	以西 千春
7	生徒とともに一步一步	石井 亜希穂
8	興味を持ったらとにかく挑戦してみる	石垣(竹村) 真奈
9	人脈と経験が未来につながる	石崎 牧子
10	「楽しい」という気持ちが原点であり働く私の活力です	石鉢依子
11	好きなことだと信じて続ければ、必ずやりがいが見えてきます	井上 幸恵
12	自分らしく	今泉 帆南巳
13	実験を続けるために選んだ道	大塩 木乃実
14	世界一の魚屋へ！！	長田 あさみ
15	笑って生きよう	笠川 宏子
16	お客様一人ひとりの価値観を共感し、ライフプランナーとしてお客様の人生を考える	片野 利香
17	好きを仕事に	金子 知代美
18	農学の専門職として活かせる職場へ	金谷 未央
19	花業界の中心に関われることが私の誇り 営業は男だけの仕事ではない	鴨井 佐和子
20	やっぱり、現場でしょ	川島 由貴子
21	鍵は己の中に。素直に自分と向き合って	小峰 泉
22	夢とあこがれを原動力に！公園づくりに夢をのせて	小宮山(伊藤) 香織
23	苦手なものが一変して職業に	櫻井 友衣
24	様々なことに興味を持ってみる！	重久 亜矢
25	視野を広くもって、自分にあった職業を	陣内 あき子
26	どんな経験も無駄にはならない 積極的にチャレンジしてみてください	鈴木 あみ
27	人生に無駄なことはない！	千田 浩子
28	神様からの Gift	高務 加奈子
29	役に立つ技術者になるために	舘野 泉
30	ニオイの素人からプロへ	鳥羽 あゆみ
31	逆転を転機へ。未来は今の自分が創る	富澤 佐知子
32	常にアンテナを張って、一步一步進むことが大切です	中尾 久美子
33	自分のところに耳を澄ます	長倉 かすみ
34	笑顔をモットーに	中澤 瞳
35	公務員獣医師として行政&研究を！	成嶋 理恵
36	頭で考えるよりもやってみる！結果は絶対ついてくる！	羽根 響子
37	ノーベル賞も夢ではない！	原田(小原) 育恵
38	好きならば仕事にはしないほうがいい、というのは考え方次第	原田(石川) 沙織
39	好きなことを楽しみながら一生懸命やってください	半澤 紗由里
40	Open your eyes : opportunity is in everything	堀内 悠
41	前向きに、楽しく	増田 なおみ
42	百聞は一見にしかず いろいろなことに自分から歩みよってみよう！	村田 麻衣子
43	自分の居場所を見つけること	本山 千絵子
44	仕事・家事・育児 全てをこなすにはパートナーの理解が重要！	森本(妹尾) ありさ
45	夢を抱くことが実現の第一歩！	門前(野田) 雅美
46	進んだ先で、やりがいは見つけられる	吉村(前田) 明子
47	努力が苦にならないことが才能である	渡邊 ちひろ
48	前へ進もう。頑張る自分がきっと好きになる	渡邊 真弓

キャリアウェイ

～理系女子学生のキャリア教育と活躍促進のための環境整備に関する研究

■プロジェクトの目的と意義

本研究プロジェクトは、次世代女性理系人材育成キャリアウェイ整備、すなわち、特に理系学部を中心として、入り口から出口まで、女子中高生理系選択支援から女子学生のキャリア教育、そして女子学生の就職力開発、卒業後のキャリア継続と再教育、女子大学院生・若手女性教職員の活躍促進のための環境整備を推進する実践的研究を目的としています。

本研究プロジェクトは、日本大学が、よりよい教育研究環境を提供し、よき職業人を育成する大学としてのステイタスを確立するための戦略として大きな意義をもっており、また本研究プロジェクトで構築した部科校・各部署の教職員が一体となって推進する全学連携推進体制、および校友会や企業等との連携システムを、他の事例にも適用することで日本大学全体の一体感が生まれ、より大きな組織力を活かした大学運営が期待できます。

■プロジェクトの位置付け

1) 日本の現状と今後のニーズ

日本が世界経済をリードし、イノベーション創出していくためには多様な科学技術人材の開発と活用が重要です。現状日本の研究者・技術者の女性比率は約 13%と先進国の中で最低であり、女性理系人材の育成とキャリア教育が必要と考えます。大学発展のためにも、現状 30%程度である女子学生の確保と増加が課題です。

2) 女性研究者支援モデル育成事業の成果

日本大学は、平成 20-22 年度文部科学省 科学技術振興調整費により、女性研究者支援モデル育成「キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル」事業（研究代表者：総長、総額約 1 億 5 千万円、間接経費 30%を含む）を実施しました。本部および各部科校の教職員が一体となり、男女共同参画に関わる環境整備と次世代女性研究者育成を推進し、女子学生のキャリア教育や女子中高生理系選択支援、そして大学院生や若手女性研究者のキャリアアップなどの次世代育成キャリアウェイ整備企画にも力を入れました。活動の成果は内外に高く評価され、特に事業の事後評価では総合 A 評価、うち目標達成度としては S 評価を得ております。

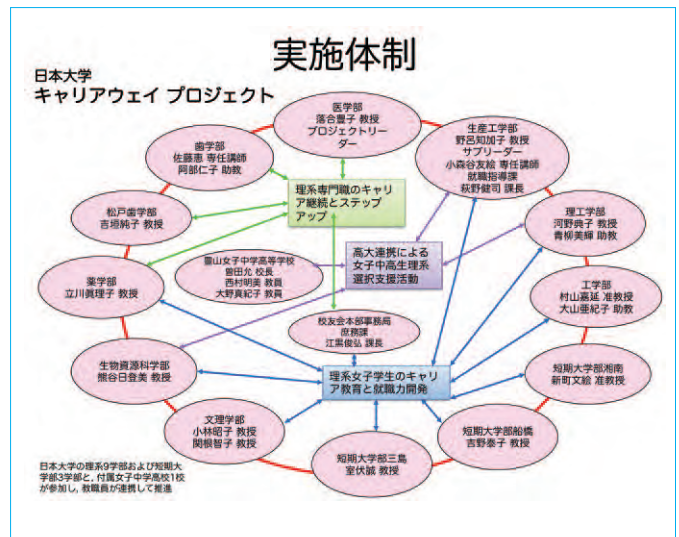
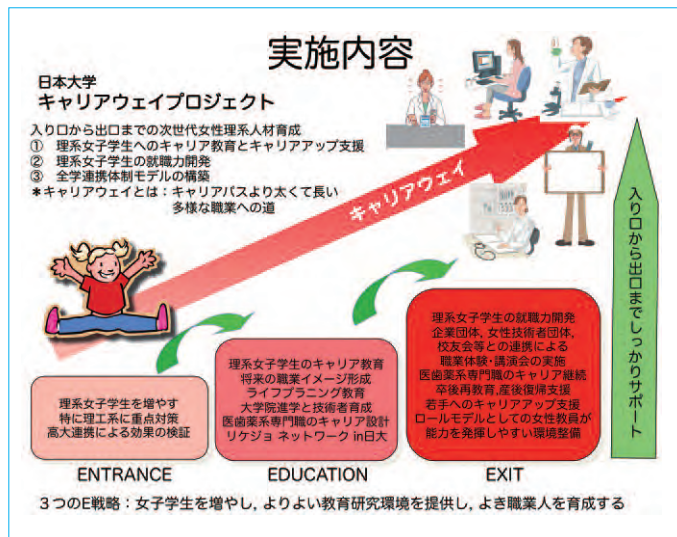
3) モデル事業終了後の進捗状況と本研究プロジェクトの大学における位置付け

この活動を契機として、モデルとなった学部には男女共同参画委員会等が発足し、事業終了後も男女共同参画講演会や女子学生キャリア教育、女子中高生理系選択支援活動等を継続しており、平成 24 年度より日本大学本部に男女共同参画委員会が発足しました。本プロジェクトでは、理系女子学生のキャリアウェイ整備を中心とした活動を部科校・各部署の教職員および校友会が連携して実施いたします。

■年次計画（2 年間）

平成 24 年度

- 1) 研究プロジェクト推進体制の整備：部科校連携推進 ML, WEB 会議システム整備, 定期的な連絡会議開催等
- 2) 研究プロジェクトの広報：ホームページの立ち上げと運営, 広報用リーフレットの作成, 成果報告会の開催
- 3) 女子中高生理系選択支援：オープンキャンパスにおける女子中高生のための体験実験や女子学生による進学相談, 附属女子中学校と連携した学部訪問企画や出前実験と進路調査
- 4) 理系女子学生のキャリア教育：社会で活躍する卒業生や企業人を招いた講演会, ライフプランニング講演会等の実施
- 5) 理系女子学生の就職力開発：企業や女性技術者のグループと連携した女子学生向けインターンシップや懇談会, 企業女性研究者との交流体制の整備



- 6) 理系女子専門職と若手女性教員のキャリア形成環境整備：医歯薬系等の専門職の職業継続やキャリア形成、再教育・産後復帰・生涯教育支援の環境整備、若手女性教員・大学院生等のキャリアアップ支援
- 7) 女子卒業生のデータベース化とロールモデル集の作成：社会で活躍する日本大学出身の女性のデータベース作成、キャリア教育や就職力開発に活用

平成 25 年度

上記 1) から 7) の継続に加え、最終報告書の作成、ロールモデル集の作成。

期待される成果

本研究プロジェクトの実施により次のような成果が期待でき、教育研究活動および運営に活かすことができると考えております。

- 1) 理系女子学生キャリア教育：早期実施により、継続的に職業人として社会で活躍する理系女性を育てることができる。
- 2) 理系女子学生の就職力向上：社会体験や企業人との交流により、就職率の向上と離職率の低下が期待できる。
- 3) 理系女子専門職のキャリア形成環境整備：社会に貢献する専門職女性が増え、医師不足問題等を改善できる。
- 4) 理系女子学生・大学院生の増加：女子中高生理系選択支援活動と活躍する卒業生の増加により入学者が増加する。
- 5) 男子学生および文系への波及効果：本研究プロジェクトで得たノウハウを、男子大学生や文系にも適用し展開する。
- 6) 全学連携推進体制の整備：構築した全学連携推進体制を他の事例にも適用し、大きな組織力による大学運営へ。
- 7) 新たな大学発展のチャンス：校友会や企業との連携を共同研究や共同開発、受託研究等に活かす。

成果の公表計画

本研究プロジェクトの成果については、以下の方法で逐次公表、広報いたします。

- 1) 成果報告公開シンポジウム開催。最終成果報告書を作成。ロールモデル集の作成。
- 2) 学内広報：企画・活動は逐次、本研究プロジェクトホームページ、日本大学新聞、日本大学広、校友会・同窓会誌等で紹介。広報リーフレットを作成、配布。
- 3) 学外広報：外部ホームページへのリンク、本学の活動を紹介。広報リーフレットを作成し、オープンキャンパス、高校訪問時に配布。
- 4) 教育学系学会の大会、女性研究者支援事業合同シンポジウム、男女共同参画学協会連絡会シンポジウム、女子中高生夏の学校等における講演やポスター展示による実践的研究の成果発表と広報。

自分プロデュースで可能性を広げる！

株式会社みずほ銀行個人マーケティング部調査役
飯岡(安田) 恵



仕事の内容とやりがい

現在の仕事は、結婚前後の方に対する資産形成についてのコミュニケーション活動の企画と実行です。銀行口座を使った家計管理や貯蓄方法をウェブサイトを中心にご案内しています。情報収集、企画、予算確保、コンテンツ開発、広告、施策評価、評価や情報収集に基づく新たな企画、予算確保、という一連の活動を行っています。

大学卒業後は食品会社、タバコ会社、銀行と一見脈絡のないように見えて実は同じ仕事をしています。それは市場、生活者、企業の資産を包括的に考慮し、新しい価値を創造することです。多くの人と協力しながら新しい何かを生み出す仕事は大変楽しく、仕事を通じ様々な事を学べ、刺激的な毎日です。



進路決定のきっかけ

理系学部進路決定のきっかけは、獣医学部を舞台としたマンガを読んだことです。何となくその世界に興味を持ち、農学系学部に進学しました。農学系の知識や経験は製品開発の仕事で役立ち、またプライベートでは最近学んでいるワインの理解を深めています。何よりも今もじっくり話せる愉快的な研究室仲間恵まれたことが最大の収穫です。

新卒で就職した企業への入社きっかけは、女性にとって外資系企業は働きやすいという親戚からのアドバイスです。いくつかの企業勤務を経て、外資系企業は性別や年齢等で人を区分することが少ないように感じます。国籍や宗教等の価値観や背景が異なる人同士の協力が不可欠なので、その人のリーダーシップがより重視される印象を持ちます。



仕事と生活／家庭のバランス

20代後半は、平日は夜中まで、休日も休みなくオフィスに向かいました。達成感があり充実した生活でしたが、ここ数年は時間や気力を100%会社に捧げることもないと考え、出来るだけ会社の仕事を早く終わらせ、自分の時間を持つようにしています。社会人になると今までの各種イベント(運動会や試験等)がなくなります。大学卒業後は、意識的に数ヶ月～数年毎の大まかな目標や計画(仕事や趣味、旅行等)を立て行動しています。当初の計画通りにならなくとも、自分をプロデュースする気分で軌道修正していくと、思いもよらない可能性と巡り会えます。

ライフイベントとしては1年前に結婚し、共働き生活をしています。周囲からの結婚プレッシャーが消え、気の合う人が側におり、とても気楽な日々です。



進路選択に対してのメッセージ

■中高生の方へ：理系分野に興味があれば、理系学部進学をおすすめします。理系学部→理系職はもちろん、理系学部→文系職の選択肢もあります。理系職は専門性が求められるので、文系学部→理系職はハードルが高くなります。文系分野(ビジネスや金融等)は学習の手段が多く、大学卒業後も知識を得られます。ネズミの世話をしたり、実験の合間に白衣のままソフトボール大会の練習をする学生生活は貴重な時間です。

■大学生の方へ：在学中に外国語に慣れると、卒業後の活動の幅が広がります。

■就職活動中の方へ：もし上手く進まないと感じても、落ち込みすぎず色々な職種を見てください。あなたの力を発揮できあなたを必要としている企業や組織があります。就職活動を様々な業界に触れられるチャンスととらえ、企業や組織との対話を楽しんでください。



*プロフィール

成城学園高等学校卒業→日本大学農獣医学部・農芸化学科(現、生物資源科学部・生命化学科)卒業→ネスレマツキントツシユ株式会社(現、ネスレ日本株式会社)生産本部応用開発室→同マーケティング本部イノベーションフロンティア→リテックシユアメリカンタバコジャパン合同会社(BATJ)イノベーションシユエグゼクティブ→コレインルスタバコカンパニーROD(米国・中国)→BATJイノベーションプロダクトマネジャー→株式会社みずほ銀行個人マーケティング部調査役(現職)→結婚

今日を積み重ねた明日へ、明日を積み重ねた未来へ

池田 桂

株式会社野村総合研究所
(NR)セキュリティテクノロジーズ出向) 営業職



*プロフィール
日本大学第三高等学校卒業→日本大学農獣医学部・林学科(現、生物資源科学部・森林資源科学科)卒業→某生命保険会社入社 セールスレディとして勤務→数回の転職→野村総合研究所 事務職として入社 運用・コールセンター業務に就く→専門職に職種転換→NR)セキュリティテクノロジーズに出向(現職)



仕事の内容とやりがい

現在の勤務先は、野村総合研究所グループの中の情報セキュリティ専門会社で、リサーチ、コンサルティング、ITソリューション、システム運用等をトータルに提供する会社です。その中で、私の現在の業務はセキュリティソフトウェアの営業です。日常生活ではなかなか聞きなれないセキュリティソフトウェアという言葉ですが、皆様が日常的に利用するクラウドであったり、メールであったり…そんな目に見えない情報環境をセキュアに(IT用語で、安全な、不安のないという意味)守る製品と考えていただければ良いと思います。

そこでの営業とは、製品の良さを知っていただき、購入して頂くのが仕事です。お客様は、金融機関・流通・製造・製薬・通信など様々な業界企業や公官庁になります。営業という仕事に就いて、要望も事情も異なる様々なお客様と出会う中で、それに応えようと努力した結果、自分という人間を育てていただき、人間として、ひと回りもふた回り大きく成長することができ、今の自分があるのだと思います。支えてくれるのも、手を差し伸べてくれるのも、最後は人である事を日々実感できる事が、今の仕事の醍醐味かもしれません。



進路決定のきっかけ

就職活動時はバブル崩壊後の就職大氷河期だった為、進路云々の前に就職口がありませんでした。私の場合、進路が決まらないまま社会に放り出され、社会に出てから進路を必死に考えていました。社会に出てからの「路探し」は、学生時に比べると何倍も何十倍も大変でしたが、いつもぶれずに思っていた事は「自立をする事」でした。特に経済的な自立はこだわっていました。ただ、余りにも漠然としていて、自分でも何をすれば良いのかわからず、先の見えない中を、ひたすら無我夢中で走り続けていました。しかしその結果が、今となれば進路と呼べる路になっているのだと思います。

どんな状況下であっても、自分で掲げた目標に対し、自分自身で諦めない事、それが進むべき路を照らしてくれると思います。



仕事と生活／家庭のバランス

未だにこのバランスは難しいです。生活の殆どが仕事で埋め尽くされた事も多々ありましたので、それにより得る事も多かったですが、一方で沢山の事を失ったのも事実です。仕事に忙殺される事は良いとは言えませんが、そんな時間を越えないと、会社員であれば社内での自分のポジションや、上司や部下との繋がりを確立して行く事が難しいかもしれません。しかし、それも時間が経つにつれて自然と良い意味で「良い加減」が出来るようになり、ON と OFF がつけられるようになると思います。最初から ON とか OFF とかを分ける事ばかり考えず、ON にどっぷり浸かってみるのも良いですよ。自分の知らなかった一面を知る事も出来るかもしれませんし、若いうちでないと出来ない事です。是非チャレンジしてみてください。



進路選択に対してのメッセージ

進むべき道は、社会に出てからも常に探し続けるものだと思います。迷う時、どうしていいかわからない時に沢山ぶつかるとは思いますが、そんな時は今日という1日だけを必死に走り抜けてみてください。必死に走る今日を重ねていけば、必ず明日が見えてくるはずです。そして明日という未来に夢を持つ力を忘れないでいて欲しいと思います。どんな夢でもいいのです。それに向かって、今の自分を自分自身で超えていく事が、自信に繋がって行くと思います。頑張ってくださいね。

何事も ENJOY! 前向きに頑張る

以西 千春
日本大学高等学校中学校教諭



仕事の内容とやりがい

高校で理科（生物）の授業を担当しています。生き物の生態から現代の新しい生命科学分野の研究に至るまで生徒に興味を持ってもらえるような授業をしたいと心がけています。日頃から世の研究や科学に目を向け、理科の知識を深め続けられるような教員でいたいと努めて教壇に立っています。生徒はとても熱心で生物に興味を持って授業に臨んでくれます。授業を通じて理科が楽しい、生物が好きだという生徒がひとりでも増えると嬉しいです。

また、私が大学で専攻した食品分野にも興味を持ち、出身学科に進学し、自分の後輩となる教え子が増えるのも嬉しいことです。生徒の高校時代に、私が教員として接する期間は授業を受け持っているわずか数年のことですが、卒業後も大学生活や研究のこと、就職先での出来事や近況など活躍の様子を知らせてくれる教え子があります。このようなことは教員をしていて幸せだな、よかったと思うことのひとつです。



進路決定のきっかけ

昔から学校が好きで、小さいころから学校の先生になりたいと思っていました。高校時代は理科や実験が楽しく、その頃は特に食品について勉強したいと思い食品科学工学科（現、食品生命学科）に進学を決めました。大学では、専攻した食品科学の学問も教職課程の勉強もそれぞれとても興味深くおもしろかったです。大学卒業後の進路決定の際、食品科学を研究するための大学院進学や企業で研究開発に携わることに魅力を感じた時期もありましたが、やはり昔からの夢であった教職に就き、学校で理科の楽しさを伝え、生徒と共に学校生活を送っていくことが一番自分のやりたいことだと考えました。父は、私には専攻分野を深く学んで研究してほしいという思いからしばらく大学院進学をすすめていましたが、私が採用試験に向けて準備を始めてからは「こういうときも ENJOY して、頑張らずにがんばり!」と応援してくれました。進路決定は周りの助言や勧めを聞き入れる耳を持つと同時に、自分はどうしたいかじっくりと考えて、最後は自分で決断することが大事だと思います。



仕事と生活／家庭のバランス

結婚を機に異動した現職の学校で二度目の育児休暇を取得しています。第一子の育休から復帰した際は定められた時間内に最大限の仕事をし、自分ができることは精一杯努力するという気持ちで仕事をしていました。一方、限られた時間の中では子どもが生まれる前と同じような、自分の思うような仕事ができずにもどかしさを感じることもあり、仕事と家庭や子育ての両立はそれなりに大変でした。学校での仕事は楽しいですし、生徒と過ごす時間は貴重でとても充実しています。それと同じくらい、帰宅後や休日に娘と過ごす短い時間は幸せなときです。今こうやって仕事ができるのはなんといっても、周りの先生方にいろいろな面で助けていただき、いつも温かく声をかけてくれる先生方がたくさんいる恵まれた職場環境だからだと思います。子どもがもう少し大きくなって、今よりもっと仕事に専念できるようになるまで、感謝の気持ちを忘れずに誠意をもって頑張って、仕事と家庭のどちらも大切に両立していきたいと思っています。



進路選択に対してのメッセージ

自分の好きなこと、興味・関心を持てることは何かをよく考えてそれに向かって進むことが大切だと思います。まだそれがはっきりと分からない人も多いと思いますが、それがどんなところで気づくかわかりません。ときに学校の勉強をしている中で、ときには友達や家族との会話の中で、読んだ本の中から気付くこともあると思います。まず学校の勉強を本当に一生懸命してみてください。受験勉強だけでなく、いろいろな分野の教養を身につけられると同時に、「こういう学問を究めたいな」と思うものとも出会えるかもしれません。また、家族、友達など周囲の人との会話や日常生活を大事に過ごしてください。きっとその中に「おもしろいな」と思うことがあるはずです。

私が思うことは、小さくても夢を持ち叶えようと信じ続けること、信じる力は必ず実現につながるといことです。やってみたいことが見つかったら強く願い、それに向かって頑張ること、達成するまでの過程で少し困難な状況でも ENJOY すること。大事な決断をする場面でこそ前向きな気持ちで信じ努力することが大切だと思います。



*プロフィール

静岡県立浜松西高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・食品科学工学科（現、食品生命学科）卒業→日本大学藤沢高等学校（現、日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校）教諭→結婚→日本大学高等学校・中学校教諭（現職）→2010年第一子出産→復職→2012年第二子出産→現在二度目の育児休暇中、2013年9月に復職予定

生徒とともに一步一步

● 石井 亜希穂
神奈川大学付属中・高等学校専任講師



*プロフィール
清泉女学院高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・植物資源科学科卒業→日本大学大学院・生物資源科学研究科・生物資源生産科学専攻・博士前期課程修了→横浜富士見丘学園中等教育学校 横浜商科大学高等学校 非常勤講師→神奈川大学付属中・高等学校専任講師（現職）



仕事の内容とやりがい

大学院を卒業後から私立中高の教員をしています。最初の1年目は授業のみを行う非常勤講師として、今年度より授業と校務の両方を行う常勤講師として働いています。教員として教科指導を行うのはもちろん大切な業務ですが、生徒指導、行事準備、委員会活動、部活動…実は様々なものがあります。現在は生徒部という行事関係、生徒会関係や日々の生徒指導を主として行う部署にいます。また、中学3年生の副担任もしていますが、授業中とは違った表情も見ることができたり、行事で一緒に燃えてみたり、とても楽しいです。子供たちはこちらが考えてもみなかった様な出来事を日々起こしますが、毎日一緒に過ごす中で少しずつ彼らの成長を見ることができることが1番のやりがいです。



進路決定のきっかけ

もともと理科が好きで、中高時代は生物部に所属していました。その時から生物分野への進学は考えていましたが、はじめのうちは教員になることはあまり考えていませんでした。その後、顧問の先生とゆっくりお話をする機会をいただき、先生の人となりや教育観などを聞くうちに、「私も教員になりたい!」と思うようになりました。教員になるには教育学部のほうが良いのかどうかも悩みましたが、理系の研究者としての一面を持つことも教科指導に必要なだろうと考え、もともと興味があった農学の生物資源科学部に進学することを決めました。



仕事と生活／家庭のバランス

まだ独身なので、仕事と生活のバランスをあまり意識していません。仕事は時間外も多いのが現実です。今は自分の時間よりもできるだけ子供たちと一緒に動いて時間の共有をしたいです。まだまだ経験が少ないので、いろいろなことを学んでいかなければなりません。授業の隙間時間や放課後に自分の勉強をしています。

また、職業柄なのか男女の差はあまり感じません。女性の結婚・出産にも寛容だと思います。実際に産休を取られる先生も多いです。その時は、皆でフォローをしています。



進路選択に対してのメッセージ

進路選択において最も大切なことは、“自分の好きなこと・やりたいことは何か”を考えることだと思います。私自身の進路選択は、まさに“好きなこと・やりたいこと”を選んただけです。もちろんいつも良いことばかりではなく、失敗や嫌なこともあるのですが、好きだからこそ前向きに、そして全力で取り組むことができるのだと思います。そして、学生のうちにできるだけ多くことに興味・関心を持つておくことも大切だと思います。視野を広げておくことは、将来的に必ずプラスになります。私もまだまだ勉強すべきことはたくさんあります。今やっていることのすべてが将来への糧になることを信じて、お互いに進んでいきましょう。

興味を持ったらとにかく挑戦してみる

石垣(竹村) 真奈
アイ・シー・ネット(株)
コンサルタント事業部 コンサルタント



仕事の内容とやりがい

現在は国際協力コンサルタントとしてアフリカやアジアなどの開発途上国で農村開発や貧困削減のためのプロジェクトや調査に携わっています。最近では、北スーダン国の農業省職員の能力開発プロジェクトで研修計画を策定する他、マダガスカル国のプエニ県で、ティラピアという淡水魚の養殖普及プロジェクトに従事し、対象村での社会調査や養殖研修をおこなっていました。プロジェクトでは様々な技術指導をしています。実施期間や予算が限られており、文化や宗教が異なりインフラ整備が不十分で治安問題もあるような開発途上国では、試行錯誤の連続です。相手国政府の職員や村人と意見が対立することもあります。それを乗り越えてお互いに満足のいく成果が出た時や、村人達が学んだ技術を笑顔で報告してくれると、それまで費やしてきた全ての苦労が報われます。



進路決定のきっかけ

中学・高校生の頃に、アフリカで次々に起こる干ばつや食糧危機の報道番組を見て、恵まれた日本の生活との格差を始めて知りました。途上国の開発問題が学べる日本大学に入学した後も、生のアフリカを見たいという気持ちが強くなり、1年間休学してケニアへスワヒリ語留学をしました。そこで現地での生活を見ることによって「貧困」とは何かを現実問題として意識するようになりました。新卒の時には民間企業に一度就職をしましたが、国際協力の仕事への夢を捨てることができず、再挑戦することを決めました。まだ不十分だと感じていた専門性と語学力を強化するためにイギリスのロンドン大学大学院へ留学しました。帰国後、現在の会社に入社し、しばらくは国内で後方支援業務を行いながら国際協力の仕事に必要な経験やスキルを徐々に積み、現在のポジションについています。



仕事と生活／家庭のバランス

結婚して5年経ちますが、仕事を優先してきたため決して家庭中心の生活ではありませんでした。年の半分以上は海外出張で家を不在にし、国内にいても報告書の執筆や次の出張の準備で、帰宅が深夜になることも度々でした。そういう意味では、仕事を継続できるよう応援し、いつも温かく見送ってくれる夫なしに家庭生活を続けることは難しかったと思います。夫自身も青年海外協力隊としてケニアでボランティア活動を2年間した経験があるため、仕事の環境や意義について十分な理解があったのだと思います。

現在は第1子を授かり、2012年の12月に出産予定です。しばらくの間は産休・育休を取りながら家庭中心の生活をしていく予定です。今後のキャリアと子育ての両立は、海外出張が中心業務のため大きな課題ですが、家族のサポートをもらい社会復帰を目指していきたいです。



進路選択に対してのメッセージ

国際協力関連の仕事に就くためには専門性、語学力と経験が必要になってきます。大学や大学院で勉強して学位を取れば準備が終わりではなく、学生の間にいったインターン経験や、卒業後に民間企業や公的機関などの一般社会でどのくらい実践経験を持っているかが大切です。そのためには学生の間に、様々な興味を持ち、多くの人に出会い、経験や失敗を積み重ねることが重要です。それによって国際協力コンサルタントに必要な、問題解決能力や提案力、異文化への理解力や他人と一緒にチームで行動する能力が養われます。20代の若手には門が狭い業界ですが、強い意志を持続できればきっとチャンスは開けると思います。自分の可能性を信じ頑張ってください。



*プロフィール

茨城県私立茗溪学園高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・国際地域開発学科卒業→(株)NOVA営業→ロンドン大学大学院・アジアアフリカ研究所開発学・修士課程修了→アイ・シー・ネット(株)→在タンザニア日本大使館(アイ・シー・ネット(株)休職)→アイ・シー・ネット(株)コンサルタント事業部復職→産休・育児休暇中

人脈と経験が未来につながる

石崎 牧子

独立行政法人医薬品医療機器総合機構
医薬品等の審査



仕事の内容とやりがい

皆さんも一度は飲んだことがあるであろう“薬”が世の中に出回るまでには、一連の流れがあります。すなわち、開発、審査、承認です。私は、その一過程、審査の仕事に携わっています。

なかでも、私が担当するのは、ワクチンです。ワクチンの多くは、0歳児を含む乳幼児に使用されます。その安全性は、慎重に審査されなければなりません。

私自身、1歳児の子供がいることもあり、安全性への要求の高さについては身をもって感じています。そのため、日々、責務の大きさを痛感しているところではありますが、一方で、非常にやりがいのある仕事だと感じています。



進路決定のきっかけ

進路を決める“決め手”は、実は——ありません。強いて挙げれば、これは面白そうだと感じたこと、また、節目節目で出会った方々に導かれて進んだ結果、今があるといった次第です。

元々、私は小動物の獣医師を志望していましたが、学部で4年生の時に入室した研究室の教授が優秀な研究者であったことから、とある国立研究機関に外研生として席を置けるように取り計らっていただくことになりました。そこで、興味深い世界を垣間見てしまったのです。その影響で、大学を卒業する頃には、もう少し研究に携わってみようと考え、研究機関の先生の紹介で医学部の博士課程に入って博士号を取得し、そのまま研究を続けました。その後、これまでに得た知識や経験を活かさないかと考えていたところ、複数の先生から現在の医薬品審査の仕事を紹介され、今に至ります。



仕事と生活／家庭のバランス

現在、第1子の育児休暇から復帰したところです。子供がいる生活は、大変ではありますが、それを遙かに上回るほどの喜びを見いだせます。

ただ、やはり、仕事と家庭・育児の両立、いわゆるワークライフバランスを成立させるのは、容易ではありません。現在は、パートナーのおかげで何とか成り立っている図式です。ですから、職場復帰前から、時間を無駄にしないよう、業務や家事を効率的に進められる方策を模索してきました。例えば、現在の仕事は守秘義務の関係で、資料を自宅に持ち帰ることができません。そのため、頭の中に資料を描いて、お風呂や子供の寝かしつけの合間に考え事をします。また、公私ともにスケジュールリングの徹底を図っています。

ワークライフバランスを保つには、体力、周囲の助け、そして少しの工夫が必要と日々感じています。



進路選択に対してのメッセージ

皆さんは、今現在、こうしたい、ああなりたいという希望をお持ちかもしれません。でも、可能性は1つではありません。この先、多くの経験と出会いが待ち受けていると思います。いろんな世界を積極的に覗いてみてください。柔軟な思考と、大いなる好奇心をもって、是非、新しい世界を体験してください。そして、大学、社会人生活を通して、たくさんの人と出会って豊富な人脈を築いてください。かく言う私も、学部生時代の教授、研究機関の先生など、多くの方々に導かれて今があります。人生において、経験と人脈に勝るものではありません。そうして、進路は自ずと決まってくると思います。



*プロフィール

東京都私立女子高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・獣医学科卒業、学部生時代に国立研究機関にて外研生として席を置く→外研生を続けながら、国立大学大学院・医学部研究科の博士課程にて、医学博士号を取得→国立研究機関にて研究員として従事→独立行政法人医薬品医療機器総合機構に転職→結婚→第1子出産→1年間の育児休暇を経て、現職に復帰

「楽しい」という気持ちが原点であり働く私の活力です

● 石鉢 依子
カネコ種苗(株) 開発部



仕事の内容とやりがい

私は現在、養液栽培の研究開発の仕事に携わっています。養液栽培とは土を使用せずに作物を栽培し、与える肥料や栽培環境を人工的にコントロールすることで高収量・高品質の作物を生産する技術です。私の仕事は、養液栽培の新しいシステムの開発やより良い栽培方法の確立のための栽培試験を行っています。また、当社の養液栽培システムを導入して下さったお客様への栽培指導やアフターフォローも私の仕事です。一般企業の研究職は会社の利益に繋がる研究を行い、成果を出さなくてはなりません。もちろんプレッシャーはありますが、農業を科学でより良いものにしていく今の仕事はとても楽しくやり甲斐があります。研究職は自分との勝負です。私自身まだまだ未熟者ですので社会に貢献できる一人前の養液栽培の専門家を目指して努力していきたいと思っています。



進路決定のきっかけ

私が今の道に進むことになったそもそものきっかけは大学への進路選択の時でした。大学を選ぶ際に、初めて自分は将来何をやりたいのか、また何ができるのかということについて考えました。その際、私は元々科学の類が好きで「この世界で起きている自然現象の仕組みについて学べたら楽しいのではないか」という考えと「将来博物館で働きたい」という思いがきっかけで学芸員課程のある生物資源科学部に進学することになりました。大学で植物の生理・生態について学ぶ内に、将来は植物に関係する仕事に就きたいと思うようになりました。しかし、就職活動の時は就職難の始まりの年であり、正直なところ業種や職種を選ぶ余裕はありませんでした。少しでも興味を持てる会社の入社試験をひたすら受け、幸運にも現在の勤め先に入社し研究職に就く事ができました。



仕事と生活／家庭のバランス

質の良い仕事をするためには、私生活を充実させ楽しむ事がとても重要です。私生活が充実していると不思議と仕事も捗ります。そのため私は、平日は集中して仕事に取り組み、休日はしっかりと休み、自分の好きなことをして楽しむことにしています。仕事をしていると上手いかず落ち込むことが必ずありますが、その気持ちを抱えたまま休日を悶々と過ごし、次週まで引きずることが一番良くありません。そんな時こそ休日を楽しみ、気持ちをリフレッシュさせています。仕事はほとんどの場合やるべきことが尽きることはありません。特に研究職は考えることや知見を広げることも仕事の1つであり、そこに終わりはありません。だからこそ自分のペースを掴みメリハリをもって仕事に取り組み、その上で私生活を楽しむことが仕事と生活を両立させる秘訣だと思います。



進路選択に対してのメッセージ

進路選択は、単に大学や就職先を決めるというだけでなく、自分がこれから歩む人生を決める大事な分岐点でもあります。私自身がそうでしたが自分の将来について考えることは、時に面倒で考えることを放棄したくなることもあります。しかし、進路選択はじっくりと自分と向き合うことができるとても貴重な時間です。明確な将来を描く必要はありません。まずは、自分は何が好きでどんなことができるのかを考えてみて下さい。「好き」とか「楽しい」と思えることが重要だと思います。また、皆さんの前には無数の道が広がっています。しかし、その道があることやその道を進む楽しさを知らなければ選ぶことができません。そのためには、多くのことを学び、経験し、自分の可能性を最大限広げてみてください。今まで見えてなかった新しい道が見つかるかもしれません。



*プロフィール
千葉県立小金高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・植物資源科学科卒業→カネコ種苗(株)開発部配属(現職)

好きなことだと信じて続ければ、必ずやりがいが見えてきます

井上 幸恵

ハクサンインターナショナル(株) 営業部 営業職



仕事の内容とやりがい

私の仕事は、花や野菜生産農家への植物の種子や苗・資材の卸販売（営業）、商品の品質管理（仕入）です。営業の仕事では、生産農家の注文や要望を聞き取り、対応・解決して喜んでもらえること、また自分で提案・企画・開発した商品が流通し店頭で販売されていることにやりがいを感じます。また仕入の仕事では、生産者よりご注文頂いた商品が無事に納品出来るように、仕入れ先と納期・品質の確認を行いながら、植物を管理する上で起こりやすいクレームを回避し、品質の安定化を図る仕組みを作ることにやりがいを感じます。

農業部門の最終消費者はほとんどが女性ですが、働いている女性の割合は少ないようです。そのような状況の中で現職は、女性であることを活かして植物主要な最終消費者である女性目線での商品開発や、販売先との対応などやりがいのある仕事だと感じています。



進路決定のきっかけ

私は、大学・大学院でコショウランの花芽分化について研究を行なっておりました。当初は研究職に付くことを理想として就職活動をしていましたが、募集が少なかったこともあり、より幅広く植物に携わる業種へと希望を変更しました。就職活動の際には、種苗メーカーや植物を取り扱う卸業者、販売店、生産農家などにも目を向け、OB訪問を行いました。その時に出会った先輩が植物の育種や輸入販売を行なっており、植物の特性を生かした商品開発に魅力を感じるようになりました。そのような中で、新しく育種された品種や海外の種苗会社から植物を厳選し、日本に導入する仕事出来る現在の会社に就職を決めました。



仕事と生活／家庭のバランス

私がお客さんとしている方は、花や野菜の生産農家さんで、生き物を扱っているということもあり、皆さんほぼ365日休みなく働いています。その関係で、土・日曜を問わず、またどんな時間でも電話がかかってくる場合があります。更に、農家さんの仕事が始まる時間は非常に早く、朝7時頃から問い合わせやトラブルの電話があることもあります。仕事に就いた当初は、時間を問わずかかってくる電話の対応で苦慮することも多々ありましたが、最近はそういった場合でも仕事のON/OFFを自分で切り替えることが出来るようになり、突然の対応にも困らなくなってきました。



進路選択に対してのメッセージ

自分のやりたいことを業種・職種など様々な方向から検討することで、自分に向いているものが見えてくると思います。最近は女性が働きやすい環境も整いつつあるかと思います。自分のリズムでやりたいことを見つけ、出来るだけ長く働くことで、社会に貢献出来るよう頑張ってください。



*プロフィール

土浦日本大学高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・植物資源科学科卒業→日本大学大学院・生物資源科学研究科・生物資源生産科学専攻・博士前期課程修了→ハクサンインターナショナル(株)入社 営業部所属（現職）

自分らしく

● 今泉 帆南巳
株式会社明治 旭川工場 品質管理係主任



仕事の内容とやりがい

入社後、1年間工場で製造ライン・品質管理の実習を行い、今は自分の職場を持ち、主任として職場管理を行っています。まだ3年目ですが、京都→大阪→旭川と3回異動し、様々な業務を経験させてもらっています。「エッセルスーパーカップ」アイスの新ラインの立ち上げにも携わる機会もあり、ゼロの状態からテスト運転、問題解決、準備を行い製造開始することができました。なかなか経験することのできないことを、若いうちから経験でき、大きな自信と成長につながっていると感じます。普段の業務においても改善が一番の仕事であり、職場内でのコミュニケーションを大切にしながら、働きやすい職場を作り出すという気持ちで日々取り組んでいます。



進路決定のきっかけ

高校生の時、あるお菓子を食べて衝撃を受けました。この味はどうしたら出せるのか？と。それから、食品メーカーで働き、私も多くの人に衝撃を与えられるような食品を作りたいと思うようになり、食品関係の勉強ができる学科へ進学、食品メーカーに絞った就職活動を行いました。その中で、今の会社に内定をいただき、最初は工場で製造に携わり経験を積もうと思い、製造職で入社しました。



仕事と生活／家庭のバランス

私は大学を卒業するまで、実家（東京）から離れて住んだことがなかったのですが、入社後は京都、今は旭川に赴任して生活をしています。最初は、知らない土地で慣れない文化で不安を感じていましたが、「住めば都」という言葉もある通り、それぞれの地でいいところがあり、休日は1日中有意義に過ごしています。夏はゴルフや山登り、冬はスノーボードがすぐに行けるので大自然を感じながら楽しんでいます。また、工場の野球部に所属しマネージャーとして毎年の全社野球大会には力を入れています。仕事は真摯におもしろく、休みは無邪気に楽しく過ごすようにしています。



進路選択に対してのメッセージ

社会人になって多くの知らなかった世界に出会い、悩むこともありました。それと同時に多くの人に会いました。ある人は私に言ってくれました。「考えすぎなくていいんだよ。自分らしくいればいいんだから。それがいいとこだからね。」と。今、自分の進路へ真剣に悩んでいる人はいっぱいいると思います。考え悩むことも必要だと思いますが、悩みすぎでは進みません。自分が思った気持ちを大切にしてください。自分は何が好きなのか、何に興味を持っているのか。私は食品に興味を持っていたので、食品の道に進みましたが、思う気持ちは人様々であり、少しでも興味を持った仕事はあると思います。ただやらされて仕事をするのではなく、おもしろい仕事ができることが大切だと思います。肩の力を抜いてとりあえずやってみましょう。途中で悩んだら自分らしさとは何かを考えて進んでみてください。



*プロフィール

日本大学第二高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・食品科学工学科（現、食品生命学科）卒業→株式会社明治入社 京都工場に赴任→同 旭川工場 製造課所属（現職）